

学生募集戦略検討委員会 令和4年度「学募共同事業」第1回勉強会を開催しました

2022年8月3日(水)に「学募共同事業」勉強会をオンラインで開催し、12大学2企業27名にご参加いただきました。

1. 学生募集事業に関わる話題提供

報告：飯島隆介 氏（株式会社リクルート まなび進学情報 Division 総合企画部大学グループ 首都圏チームリーダー）

「進学ブランド力調査 2022」の結果及び「進路選択行動」に関する進学センサスについてご報告いただきました。教育方針・カリキュラム等を見た上で大学を選ぶ高校生が増えており、アドミッション・ポリシー等を高校生にしっかりと伝えて大学に対する理解度を高めることが志願にも繋がるのではないかとこの提言もなされました。

2. 2022年度学募共同事業について

2022年度は昨年度まで実施した SNS でのテストマーケティングの結果も踏まえて、協議会ホームページの充実を図ることが提案されました。

3. 学生募集、入試事業に関わる情報交換

学生募集や入試事業について、各大学の現状を含め、今年度取り組んだ、またはこれから取り組むチャレンジングなことを主なテーマとして出席校の情報交換を行いました。「学部・学科の改組」「新たな入試制度の導入」「大学案内やホームページによる広報や情報発信の取り組み」等、様々な角度から状況が話されました。

最後に、学生募集戦略検討委員会幹事校の淑徳大学 長谷川俊哉事務局次長より、「教育方針やカリキュラム、あるいは3つのポリシーを高校生が意識するようになってきている。Z世代は意味消費を重視するともいわれているが、大学として大学教育をしっかり行うことを大切にしなければならない。また、福祉系の志願者が少ないながらもその割合が下がっていないのは、福祉系を目指す生徒がいるということである。この福経協でも同じ目標・目的を持ってベクトルを合わせながら皆さんと取り組んでいきたい。」と閉会挨拶がなされました。

以上、現況の共有、把握に留まらず、今後の取り組みを考える上で有意義な勉強会となりました。